

**令和5年度
第3回いわき市保健医療審議会
食育推進協議部会**

議事録

いわき市保健所 地域保健課

令和5年度 第3回 いわき市保健医療審議会 食育推進協議部会

1 日 時 令和6年1月31日（水） 午後2時00分～午後3時00分

2 場 所 いわき市総合保健福祉センター 3階 社会復帰会議室

3 出席者

委 員	上遠野 恭子	委 員	松本 麻里
委 員	内山 久美子	委 員	塩 昭信
委 員	大和田 智恵子	委 員	渡辺 貴生
委 員	酒井 和哉	委 員	増子 智子
委 員	菅野 栄子	委 員	阿部 有紀子
委 員	菅原 勝人	委 員	鈴木 賢一
委 員	鈴木 孝治	委 員	久保木 幸子
委 員	月川 奏		

4 事務局職員

いわき市保健所	所長	新家 利一
	次長	小川 俊幸
保健所地域保健課	参事兼課長	小野 勝己
	主任主査兼係長	半沢 和行
	主任栄養技師	鈴木 知子
	事務主任	澤田 博之

5 議 事

(1) 報告事項

第4次食育推進計画（素案）に関する庁照会及び市民意見募集（パブリックコメント）で寄せられた意見等について

(2) 協議事項

第4次食育推進計画の提言（案）について

(3) その他

6 会議の概要

(1) 報告事項

第4次食育推進計画（素案）に関する庁照会及び市民意見募集（パブリックコメント）で寄せられた意見等について

発言者	内容
	《事務局の報告に対し、質問・意見等なし》

(2) 協議事項

第4次食育推進計画の提言（案）について

発言者	内容
委員	学校の敷地内で動物を飼っており、野菜も育てていることから、幼稚園生や小学生が来訪する場合がある。牛舎や鶏舎等を見学してもらいながら、動物が食卓に並ぶ食べ物となることを話した際に、引率の先生がお手紙をくださり、その日はお弁当を残す子どもが誰もいなかったことを記載いただいていた。子ども達も小さいながらも考えが深まっている様子がわかったとも記載いただき、中学生や高校生に向けた食育も大事だが、年齢が低いほどに食育の効果も高いように感じている。ライフステージの一つ一つを大事にしていくことが、市民の健康を守っていくうえで大切だと思いながら説明を聞かせていただいた。今後とも連携を深めながら対応を行っていきたい。
議長	コロナ禍の期間は、食育に関する授業等を実施できなかった場合もあったと考えられるが、新型コロナウイルスが5類へと変更になり、現在は様々な活動が行われていると思う。学生に対して、朝食の重要性や、学校の帰りのコンビニの活用方法をお話させていただいたことがあるが、状況は如何だろうか。
委員	保健所と連携して、食育の講演会・演習を実施させていただいたことがあるが、BMIが高いクラスの担任からの要望があって実施となった背景がある。コンビニの商品を例に、昼食として食べたいものを全て選んだら、どれくらいのカロリーになるか、脂質が何グラムになるかを計算する演習を実施した。多くの生徒は、講演の内容も踏まえ、栄養バランスを考えて選ぶことができたが、1食で1日の摂取量の半分を超えるような選び方をしている生徒もいた。生徒達は話を聞いた直後は気を付けるが、時間が経つと元の考え方に戻るため、繰り返し教えていくことが大事だと日々感じている。ま

	<p>た、地域の食文化もテーマとしていきたいが、学校教員の知識と技量だけではどうにもならない部分があると日々感じているため、地域の力をお借りしながら、若い世代の食育につなげたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>大学生では、1日1食しか食べないという生徒もいるため、教員として心配しているところである。市民アンケートについて、青年期の回収率の低さが気になっている。16歳～29歳が青年期であるが、そのうち高校生の回答は多い状況だろうか。高校生は親が食事を作ってそれを食べる場合が多いが、大学生や青年期後半では自分で食事を作るため、環境が違っていると思う。若い世代への食育を推進するにあたって、学生と社会人では対応が変わってくるように考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>青年期は16歳～29歳にアンケートを実施しているが、高校生に限定した数字は現在は把握していない。市民アンケート調査結果は公表しており、青年期が朝食を食べない理由については、食べる時間がないという回答が多く挙がっている。親が多忙ということも考えられるため、10代も同傾向であると認識している。</p>
<p>議長</p>	<p>朝食を食べない習慣を持った人が、自身が親となった際に子どもに朝食を提供できるのかという懸念もあり、心配な要素である。</p>
<p>委員</p>	<p>コロナ禍が落ち着いてから、親子料理教室や、男性向けの料理教室など様々な取組を実施している。先日は、小学1年生から5年生くらいまでの親子にむけた料理教室を実施し、生きているタコやヒラメ、カニ等を子どもたちに触ってもらった。料理教室では、小学1年生にも包丁の持ち方や昔の郷土料理を教えた。市民の皆さんには、魚にもっと触れ合ってもらい、食べてほしいと考えている。魚において減塩はなかなか難しい問題だが、知恵を貸してもらいながら進めていきたい。3月7日は魚の日であり、3月3日の日曜日には市場で朝市も行うため、遊びに来ていただけると良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>栄養士はそれぞれ職域ごとに食育に関わっている。保育園では忙しい母親の代行で料理実施やアレルギー対応、各学校においては食育の授業等を実施している。食育推進計画の案については、内容をしっかり作っていただいたと思う。単独の計画書ではなく、健康21プランと合冊になると報告いただいた際には少し心配になった</p>

	が、内容を見ると食育がしっかりピックアップされており、写真等も掲載されているため、とてもわかりやすくなっていると思う。
--	---

(3) その他

発 言 者	内 容
事務局	今後のスケジュールとしては、2月1日に保健医療審議会、2月9日に市長提言を予定している。